

瀬田川プランクトン調査結果速報

～第21報～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年8月25日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Cryptomonas sp.

(クリプトモナス)

褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんで消化道を形成している。等長の2本の鞭毛を持つ。通常2個の大きな葉緑体を持ち、その色は黄色、褐色、赤色、赤褐色などさまざまである。

動物プランクトン第1優占種



Epistylis sp.

(エピスティリス)

繊毛虫類

体は円錐状であり、前端に円形の囲口部がある。収縮しない柄を持ち、群体を形成する。

コメント

植物プランクトンはクリプトモナス、ロードモナスが多く、珪藻のメロシラや藍藻のアファノテーケは前回よりも減少した。動物プランクトンは、エピスティリスが最も多く、ついでポルティセラが多かった。エピスティリスは、群体性の繊毛虫であり、エダワカレツリガネムシと呼ばれている。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Epistylis</i> sp.	120

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Vorticella</i> sp.	100

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年8月25日

第21報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	40		
(黄) <i>Chlorocloster</i> sp.	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	5		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	20		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	10		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	120		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	120		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	40		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	110		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	2		
(緑) <i>Cosmocladium constrictum</i>	33		
(他) <i>Tetraselmis</i> sp.	20		
(藍) 藍藻綱	40	7.1	0.6
(黄) 黄緑藻綱	10	1.8	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	35	6.3	1.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	3.6	0.5
(褐) 褐色鞭毛藻綱	240	42.9	6.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	195	34.8	90.5
(他) その他のプランクトン	20	3.6	0.2
総細胞数	560	総体積 (μm^3)	3.42E+06
種類数	15		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。